



Area Design
Promotion Headquarters

まち×デザイン=未来

エリアデザインによる 足立区の挑戦



エリアデザイン計画とは、魅力的なまちの将来像を描き、民間活力の誘導や区有地等の活用を効果的に行うことで、区のイメージアップを図る足立区独自のまちづくりの手法です。

現在は、「綾瀬・北綾瀬」「花畑」「江北」「六町」「千住」「竹の塚」「西新井・梅島」の7つのエリアが対象となっています。

人が主役のまちづくり、まずは「まちの顔づくり」 駅前交通広場など基盤整備に着手

◎ 駅東口のU R団地のストック再生などまちづくりの進捗にあわせて、周辺区有地などを活用したにぎわい創出により、駅東西が一体となる回遊性の高いまちづくりを目指します。

住んでいるだけで自ずと健康になるまちへ！ 2023年1月、 東京女子医科大学附属足立医療センターが開院

◎ 大学病院を核としながら、統合による小中学校跡地、上沼田東公園・創出用地などに、新たな魅力や活力を創出する施設を誘導し、区の新たな拠点となるまちづくりを展開します。

西新井駅西口の駅前交通広場整備に着手 西新井公園周辺のまちづくりが始動

◎ 駅や周辺施設の再整備の動向を注視しつつ、都営住宅跡地の有効活用、未整備の西新井公園計画の再構築、東武線をくぐる南北線構想の実現など、まちづくりの機運を高めます。

西口駅前の再開発、5つの大学誘致とまちの魅力が向上 働く女性が住みたいまちランキングも上位

◎ 足立区のシンボルとして、さらなる大学連携を進めるとともに、エリア全体の賑わいの創出や魅力的資源の有効活用により、足立区のイメージアップに努めます。



2021年4月、文教大学が開学 河川、公園などの周辺環境の再整備も進行中

◎ 1964年の東京オリンピック時に花畑団地が誕生、2020年のオリンピック・パラリンピックとともに花畑エリアが生まれ変わりました。

駅前区有地ににぎわい拠点を整備 隣接する駅前交通広場、公園と 一体的活用を目指す

◎ 都心へのアクセスが便利なT X 六町駅前にまちに活力を与える民間施設を誘導し、区内外からの来街者の増加を図り、六町エリアのさらなるまちの活性化を進めます。

綾瀬・北綾瀬の駅前交通広場を整備 旧こども家庭支援センター等跡地活用を検討

◎ 都心へのアクセス性が高い綾瀬のまちの特徴を活かし、「選ばれ続け・住み続けたい綾瀬」の実現に向けた取り組みを進めます。
◎ 千代田線直通による北綾瀬のさらなる魅力の向上に向けたまちづくりを展開します。